

2011 年度 相模川神川橋下河川敷でのシナダレスズメガヤ観察記録

相模川湘南地域協議会 中門 吉松

相模川神川橋下河川敷は玉石河原が減少して河原一面を覆い尽くした“シナダレスズメガヤ”について、カワラノギクの再生活動を進めると同時に観察を行なった。

シナダレスズメガヤの生態的特徴について最も衝撃的な出来事は4月から12月の間で“3度も種子からの発芽や株からの新たな芽”が出たが、幸いにも3度目は花序や小穂の時点で種子になる前に枯死した。今年度は春先に枯れた株の刈り取りや野焼きがあり、3パターンの成長過程が見られたので内容を報告する。

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
種子から発芽		発芽	花序	種子	枯死	発芽	花序	種子	枯死	発芽	花序	小穂	枯死
枯れ株から新芽			新芽	花序	種子	枯死	新芽	花序	種子	枯死	新芽	花序	枯死
野焼き株から新芽			新芽	花序	種子	枯死	新芽	花序	種子	枯死	新芽	花序	枯死

1) 成長過程について

① 種子からの発芽

- ② 発芽から種子をつけて枯死するまでは約3ヶ月間で種子散布後は直ぐに発芽が見られた。散布後に降雨があると直ぐに発芽する。また、増水により玉石河原が洗われた場所では発芽が常にみられる。しかし、12月に入って霜が降りると小穂の状態でも茎は枯死してしまう。



③ 枯れ株からの新芽

前年の枯れ株からの発芽は4月下旬から芽吹き始めた。芽吹いた後は種子からの発芽よりも早く成長して種子をつけ散布するが、枯死してから発芽までは約2週間程度を要している。12月に入って霜が降りると花序の状態でも枯死してしまう。

④ 野焼き株からの新芽

株からの新芽の成長は最も早く一面が青々として、通りがかりの人は『きれいね〜』と立ち止まって見る程である。種子の散布後は②項と同じ過程を辿っている。

2) 除去について

除去として ①発芽した若芽を手で抜き取り ②スコップで成長した株の抜き取りを実施したが手で抜き取る方法が最良であった。発芽後10cm~20cm程度(1ヶ月位まで)であれば子供達でも苦勞なく抜き取ることが可能である。

イベントとして『シナダレスズメガヤ駆除作戦』を発芽してから種子をつけるまでの間に実施することを提案します。